



を大きく逸脱している。本市農業への影響はどうか。

【答】 基幹産業であり続けるよう、国・県の対策やJA等の関係機関と連携し、体質強化に努める。

◆鳥獣被害対策による成果は
【問】 捕獲の成果は日本シカ315頭、イノシシ46頭、サル128匹、カラス等を駆除したというが、個体調整及び電気柵設置補助による成果は。

【答】 昨年度の被害面積は、5年前と比較すると約半減している。

◆介護保険制度改正の影響は
【問】 介護報酬が2.27%削減され市内の事業者で経営悪化や介護職員の人材不足などが出ていないか。

【答】 現在のところ、一部事業者が減収になっているとしているが、事業からの撤退の動きは聞いていない。介護職員の人材確保には苦慮しているところがあると聞いている。

◆道路修繕は早めの対応を
【問】 道路の不備でケガや車の破損事故等が多発している。道路パトロールはどのようにしているか。

【答】 市内を5区画に分け、3日に一度のペースで巡回している。

◆防災行政無線の活用
【問】 熱中症予防の放送をして周知に努めてはどうか。

【答】 検討していく。

清風クラブ
 質問者 平岡 正治
 西條 富雄・中野 重則
 持ち時間100分

市民要望に 応えた 予算配分を

◆平成28年度予算編成は

【問】 新年度予算編成方針の特色と、主な歳入である市税や合併の特例が終了する地方交付税の見込みは。

【答】 「行政経営システム」を構築するとともに、事業部ごとに一般財源を包括的に配分する「包括予算制度」を導入することで、各部長のマネジメントにより自立的予算編成を行う。

◆有効な予算配分を
【問】 総合計画に沿った戦略的

【答】 主な歳入の見込みは、市税は減額が見込まれるものの、地方交付税は前年並か、やや上回る見込みである。

予算配分も結構だが、一方で生活者としての市民要望に応えた配分が肝要ではないか。

【答】 各部へは事務事業評価の結果などに基つき配分するが、より市民に近い事業部において、市民生活に直結する要望事業に配慮していく。



地震体験車

◆震災への対策は

【問】 実際に即した避難所の開設や、負傷者の振り分け訓練などと合わせ、県、警察、学校、事業所などと連携した総合訓練が必要ではないか。

【答】 市では毎年総合防災訓練を実施している。また、各地区、区単位でも自主的な訓練が行われているが、関係機関と連携した総合訓練については、今後検討していく。

【問】 既に松本市や安曇野市では設置しているが、災害対策などに関する経験のある人材

を「災害対策専門官」として確保し、一層の防災体制の強化を図る予定は。

【答】 他市では既に設置していることは承知しており、今後研究したい。

◆大雪への対策は

【問】 除雪作業の効率化とスピードアップを図っていく考えは。

【答】 県道・市道を問わず相互除雪が実施できるよう松本建設事務所と協定を結んだ。また、大型重機を追加してスピードアップを図っていく。

【問】 現在、中央スポーツ公園駐車場と奈良井川河川敷に数カ所の雪捨て場があるが、もっと近隣に確保できないか。

【答】 小坂田公園グラウンドなどを臨時雪捨て場としているが、要望が多いので、近隣への確保に努めていく。

◆いじめ対策は

【問】 いじめ予防には、まず教師や周囲の仲間たちによる気付きが大切と思うが、本市の対応は。

【答】 「学校におけるいじめの防止等のための基本的な方針」を定めて未然防止に努めており、今後も早期の気付きなどに徹底して取り組み、いじめの撲滅に努める。